

も多いことから折衷タイプの韓式系土器と認定した。

甑 切り込みを入れた把手部片が3点出土している。端部が面をもつものと、尖るものがある。1907は縦位の平行叩きと横方向の沈線がみられ、把手部の剥落痕と口縁への外反部が僅かに残る胴部片である。これらはいずれも黄白色系胎土で他の韓式系土器と共に通する。特に把手部は壺胴部片として報告した多くの破片と酷似しており、把手付壺かもしれない。1671は多円孔の甑で、胎土は土師器と同じである。外面はハケ目調整を施しており、土師器に分類すべきか。

以上の軟質土器（韓式系土器）は器種や形態が豊かで、単独出土のこれまでの県内事例とは異なる評価が必要であろう。平底鉢や壺の形態から見ると、上記で例示した大谷里遺跡などが所在する百濟南部の榮山江流域の土器様式に近いものと考えられる。

韓式系土器に伴う土師器・初期須恵器

韓式系土器に伴うと考えられる土器組成を第279図に示した。土器器の壺、甕は布留式土器の特徴を留めた個体（ここでは布留系土器とした）が多い。また、小型丸底甕は弥生期の壺との区別がつきにくいうるものもある。

高杯は杯部・体部境に段状の屈曲をもつのが主流で、屈曲せず杯部が椀状となる形態は1点のみである。前者はさらに口縁部が屈曲して外反する形態と、斜め上方に直線的あるいは内彎気味に開く形態に分かれる。量的には口縁部が屈曲するタイプがやや多い。この高杯の形態組成や量比は倉敷市菅生小学校裏山遺跡（中野 1993 の分析）に類似する。

須恵器は陶邑 TK232併行期からTK208併行までのものを含む。実際にはさらに新しい時期の須恵器も出土しており、流路跡 SR05～07の埋没途上の窪みの維続時期を反映しているものと推定される。したがって韓式系土器に伴う須恵器を検別することはできず、量的な比較から類推するしかない。蓋はTG232窯と同様に口縁天井部境の突唇が大きなものと、ON231窯のように突唇が低いものがある。量的には後者が多い。高杯は口縁、脚部とも小片のため判断しづらいが、口縁部外反が弱く、段も低いことからTK73併行を上限とするものと考える。小型甕は口縁部が外反気味となることからON231窯併行とみられる。以上、時期幅が大きいが、TG232窯併行が少量、ON231窯併行もしくはTK73併行がやや多く、TK208は少ない傾向といえる。韓式系土器や上記の土師器は量的な比較から見てTG232窯からTK73窯併行期ごろの所産と見るのが妥当であろう。

当遺跡と土師器の形態組成が類似し、韓式系土器が多数出土した岡山県菅生小学校裏山遺跡出土の須恵器のうち、高杯（中野 1993 の 440）や大型器台（中野 1993 の 442）もやはり TG232 窯から ON231 窯併行期ごろの所産と考えられるので、上記と矛盾はない。

胎土分析 初期須恵器・陶質土器7点の胎土分析の結果、多くが陶邑産であったが、三谷三郎池西岸窯と産地同定されたものが3点ある。また、赤褐色系の陶質土器は、分析の結果「陶邑産？」とされ産地を特定するに至らず、半島からの搬入品である可能性も考えておきたい。

県内の初期須恵器の胎土分析では、近隣の陵遺跡で出土した須恵器7点のうち蓋、壺、大型器台、有蓋高杯の4点が三谷三郎池西岸窯産、それ以外は陶邑産とされており、原間遺跡では分析対象27点のうち官山窯産1点を除くすべてが陶邑産とされている。陶邑産が圧倒的に多いことは間違いないが、三谷三郎池西岸窯と判定される製品が増加しつつある。分析値には当然ながら一定の誤差等が含まれており、太田下須川分析例では、陶邑か三郎池か両方の可能性があるものが指摘されている。つまり産地同定結果をそのまま須恵器の生産地と置き換えて考えることは現段階ではまだ無理である。三谷三郎池西

岸窯と判定される製品が今後さらに増加することで、考古学的な形式比較が可能となるであろう。

<古代>

C地区東側の河川跡 SR01 では、7世紀後半ごろに河川の付け替えが行われた可能性を指摘した。古墳時代中期まで西から東に蛇行しながら流下していた C 地区西側の流路跡 SR05 ~ 07 は、遅くとも 7 世紀中葉までには埋没し、南東から北西に流れる溝跡群に転換する。これは、7世紀中葉から後半にかけての広範囲の水利網の変更を反映するものと推定した。同時に流路埋没後の窪地を利用して、C 地区微高地一帯が水田化した可能性が高いと言える。その後、平安期には微高地で掘立柱建物跡が営まれ始める (SB25)。その建物跡は、周辺条里型地割に沿って建築されており、遅くともこの段階には現在の条里型地割と同じ地割が周辺に施工されていることが確実である。それでは、7世紀後半から平安期にかけては、条里型地割が施工されていなかったというと、必ずしもそう判断はできない。C 地区東側の溝跡 SD17 ~ 19 は、7世紀後半の溝跡と考えられるが、南から不定方向に流下した後、調査区内でカーブして、概ね条里方向に一致して北の調査区外へ続いている。つまり、部分的に微地形に沿った不定方向の溝跡でも、地形条件が克服できる場所では溝を屈曲させて条里方向に沿わせているものと解釈できる。同様の事例は、県中央部の丸亀平野で多くの事例 (森下 1997) がある。すなわち、条里型地割の施工を平安時代まで遡らせて考える必要はない。

<中世>

A 地区の中世から近世にかけての遺構は、南北朝期に調査地の南に移転したとされる「宝藏院極楽寺」に関係した遺構である可能性が高い。特に西丘陵の SB09・10 は大型の掘立柱建物跡で、区画溝跡と推定される大溝跡 SD04 を伴う。また、東丘陵の建物群は建物群 B に代表されるように、地山整形による平垣面を作り出して建物を構築しており、同時期に多数つくられたとみられる中世山城の削平地の構築状況にも類似するものである。出土した遺物は、大溝跡より多数の土器が出土したが、多くは備前系などの陶器類と、土師質の調理具類であり、土師質の供膳具が極めて少ない。これは、井戸出土の漆桶に代表されるように供膳具が主に木製品でまかなわれた可能性が高いものと言えよう。

瓦は多数出土したが、平安期にさかのぼりうるものは、1点程度である。焼成瓦に鬼瓦が1点含まれている。一般的な集落では出土しない器種であり、寺院との関係を示唆するものであろう。

参考文献

- 阿河説二編 1999 『陵墓跡 紙住宅供給公社による宅地造成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』長尾町教育委員会
- 阿河説二編 2002 『高松寺跡 成重遺跡 積石塚丘墓 一白鳥町町内所在遺跡発掘調査報告書-1』
- 石井健一 1998 『西浦谷遺跡』『三木町内遺跡発掘調査報告書平成9年度国庫補助事業報告書』三木町教育委員会
- 石井健一 1999 『西土居遺跡群』『西土居遺跡群西土居工場用地造成に伴う埋蔵文化財調査報告書 1999.12』三木町教育委員会
- 石井健一 2001 『白山3遺跡』『白山3遺跡香川厚生年金健康福祉センター建設用地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 2001.3』三木町教育委員会
- 大久保徹也 1990 『下川津B類土器について』『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書下川津遺跡-第2分冊-』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター
- 大久保徹也 2006 『備讃地域における前方後円墳出現期の様相』『日本考古学協会 2006年度愛媛大会研究發表資料集』日本考古学協会 2006年度愛媛大会実行委員会
- 大山真光編 1983 『川上・丸井古墳発掘調査報告』長尾町教育委員会
- 岡戸哲紀編 1995 『陶邑・大庭寺遺跡IV』大阪府埋蔵文化財調査報告書 第90号』(財)大阪府埋蔵文化財協会
- 岡戸哲紀編 1996 『(財)大阪府文化財調査研究センター報告書第10集 南邑・大庭寺遺跡V』大阪府教育委員会・(財)大阪府埋蔵文化財協会
- 奥田 尚 1995 『太田下・須川遺跡の土器の妙謎』『高松自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第3番 太田下・須川遺跡』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・建設省四国地方建設局
- 香川県教育委員会 1993 『石田高校校庭内遺跡』香川県教育委員会
- 片桐節子 1998 『極楽寺塚墓群』『極楽寺塚墓群寒川町上水道水場建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』寒川町教育委員会
- 片桐孝治編 2002 『原間遺跡I 四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第39番』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター
- 片桐孝治編 2002 『極湖遺跡 四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第43番』香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公団・香川県土木部
- 片桐孝治編 2002 『原間遺跡II 四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第42番』香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公団・香川県土木部
- 片桐孝治編 2006 『小山・南谷遺跡II 県道高松志度線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告』香川県教育委員会
- 金田章裕 1988 『糸里と村落生活』『香川県史 1 原始・古代』香川県
- 亀田跡・白石湖ほか1998 『平尾塚群』『平尾塚群』綾歌町教育委員会
- 北山健一郎編 1995 『高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第5番六条・上所遺跡』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・建設省四国地方建設局
- 北山健一郎編 1995 『高松自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第3番 太田下・須川遺跡』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・建設省四国地方建設局
- 北山健一郎 2005 『本郷遺跡』『香川県埋蔵文化財センター一年報平成15年度』香川県埋蔵文化財センター
- 木下晴一編 2002 『空港跡遺跡V 空港跡遺跡事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第5回』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・香川県土地開発公社
- 木下晴一編 2000 『原中村遺跡』『県道高松志度線緊急整備工事及び県立浜原短期大学建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告原中村遺跡』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター
- 國木健司 1993a 『石塚山古墳群』綾歌町教育委員会
- 國木健司 1993b 『尾崎西遺跡、極楽寺東古墳』『香川県埋蔵文化財調査年報平成4年度』香川県教育委員会
- 近藤 球編 2001 『矢野遺跡(1) 一般認可192号徳島南環状道路改築に伴う埋蔵文化財発掘調査』徳島県埋蔵文化財研究会
- 坂本憲昭 2006 『唯南四国系塚について』『田村遺跡群II 第9分冊総論』高知県教育委員会・(財)高知文化財埋蔵文化財センター
- さぬき市教育委員会 2006 『上卒立遺跡発掘調査地説明会資料』
- 榎夢龍外 1989 『大谷里五号住居址』『住居跡 水没地域 文化遺産調査報告書(VI)』全南大学博物館・全羅南道
- 榎夢龍外 1990 『大谷里五号住居址』『住居跡 水没地域 文化遺産調査報告書(VII)』全南大学博物館・全羅南道
- 下澤公明編 1996 『當富遺跡 山陽自動車道建設に伴う発掘調査13』岡山県埋蔵文化財発掘調査報告105』日本道路公団広島建設局岡山工事事務所・岡山県教育委員会
- 徐聰勳・成俊波 1989 『大谷里五号・六号住居址』『住居跡 水没地域 文化遺産調査報告書(VI)』全南大学博物館・全羅南道
- 青原康夫 1993 『吉備式祭式の波及と変容—播磨帯の生成と思想の背景ー』『徳島県埋蔵文化財センター研究紀要 眞朱 第2号』(財)徳島県埋蔵文化財センター
- 翻訳者別調査会1987 『県道西白方善通寺線改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 昭和61年度』善通寺市・香川県教育委員会
- 高畠豊・阿河説一 1997 『寺尾20号墳』『寺尾古墳群鶴部南地区土地造成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』志度町教育委員会
- 次山淳 1991 『七罈』『川上・丸井古墳発掘調査報告書』長尾町教育委員会
- 羽沢史編集会 1986 『改訂 長尾町史 上巻』長尾町
- 中野雅美 1993 『若生小学校校庭内遺跡』『山陽自動車道建設に伴う発掘調査5』岡山県埋蔵文化財発掘調査報告81』日本道路公団広島建設局岡山工事事務所・岡山県教育委員会
- 西岡達哉編 1989 『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第6番植木遺跡』香川県教育委員会・日本道路公団・

- (財)香川県埋蔵文化財調査センター
西岡達哉編 2007 『砂入遺跡 三木市便局跡に伴う埋蔵文化財発掘調査報告』香川県教育委員会・日本郵政公社
- 西口陽一編 1994 『野々井西遺跡・O N 231 号墓跡 近畿自動車道松原さみ線建設工事に伴う発掘調査報告書』(財)大阪府埋蔵文化財協会調査報告書 第86種 大阪府教育委員会・(財)大阪府埋蔵文化財協会
- 西村博文・中村昭哉 1996 「鹿伏・中所遺跡」〔鹿伏・中所遺跡高校新設事業に伴う埋蔵文化財調査概報 平成7年度』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター
- 丹羽佑一 2002 「農学部遺跡」『農学部遺跡1香川大学遺伝子実験施設ならびに関連施設建設に伴う発掘調査香川大学埋蔵文化財発掘調査報告』香川大学埋蔵文化財調査室
- 信里芳紀 2005 「讃岐地方における弥生中期から後期初頭の土器編年-『職人窯を中心として-』』『香川県埋蔵文化財センター研究紀要1』
- 信里芳紀編 2004 『中森遺跡・林・坊城遺跡II・史山町・水田遺跡 II・四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第53号』香川県教育委員会・国土交通省四国地方整備局、日本道路公団
- 蓬本和伸・西岡達哉 2000 『須田・中尾瀬遺跡』『県道・河川係埋蔵文化財発掘調査概報平成11年度』(財)香川県埋蔵文化財調査センター
- 花谷 浩輔 1991 『川上・丸井古墳発掘調査報告書』長尾町教育委員会
- 廣瀬雄雄 1983 『日本の古代遺跡 8 香川』森浩一企画、保育社。
- 古瀬清秀 1988 「原始古代の寒川町」『寒川町史』寒川町
- 埋蔵文化財研究会編 1988 『第24回埋蔵文化財研究集会 定型化する古墳以前の墓制』埋蔵文化財研究会
- 松田重治編 2001 『天神川古墳群』三木町教育委員会
- 松田重治編 2003 『西土居古跡群』三木町教育委員会
- 松本敏三 1980 『香川県出土の古式須恵器』『瀬戸内海歴史民俗資料館年報第5号』瀬戸内海歴史民俗資料館
- 松本敏三 1981 『香川県出土の古式須恵器』『瀬戸内海歴史民俗資料館年報第6号』瀬戸内海歴史民俗資料館
- 松本敏三・沼澤孝 1983 『霞波青銅器図録』瀬戸内海歴史民俗資料館
- 松本敏三 1987 『香川県』『弥生・古墳時代の人體土器の諸問題 第Ⅲ分冊 発表要旨・追加資料』
- 真鍋昌公編 1988 『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告V・大嵐浜遺跡』香川県教育委員会・本州四国連絡会議公団
- 真鍋昌宏 2003 『県道高松長尾大内線地方特定期道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 尾端遺跡』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター
- 三辻利一 1990 『下川津遺跡出土器の状況文録分析』『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告7 下川津遺跡 第2分冊』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・本州四国連絡会議公団
- 三辻利一 1995 『太田下・須川遺跡出土初期須恵器の蛋黄X義分類』『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第3冊 太田下・須川遺跡』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・建設省四国地方建設局
- 森巣也・堅忍形記ひ香 2004 『成重遺跡』『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第47号』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公団・香川県土木部
- 森裕也・吉野勝久編 1995 『高松自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第2冊前田東・中村遺跡』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・建設省四国地方建設局
- 森裕也編 1997 『尾崎西遺跡』『香川県埋蔵文化財調査年報平成6年度』香川県教育委員会
- 森裕也・吉野勝久・鈴木一郎 1996 『尾崎西遺跡』『香川県埋蔵文化財調査年報平成7年度』香川県教育委員会
- 森裕也・吉野勝久 1997 『丸亀平野多里型地割の考古学的検討』(財)香川県埋蔵文化財調査センター・研究紀要V『防川埋蔵文化財調査センター』
- 森下英治 2002 『右器の生産と流通』『第16回古代学会四国支部研究会 弥生時代前期末～中期初頭の動態－研究発表要旨集－』古代学会四国支部
- 森下英治 2007 『こう見る「村の姿」』徳島文理大学比較文化研究所年報第23号 シンポジウム記録「交易する村々」』
- 森下友子編 2005 『高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第10番櫛崎・川田遺跡III』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・国土交通省四国地方整備局
- 森下友子編 2000 『鶴歩・川田遺跡II 高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告9』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財センター・建設省四国地方建設局
- 柳瀬昭彦・伊藤晃 1974 「土器編年について 第III部上東遺跡の調査』『岡山県埋蔵文化財調査報告2 山陽新幹線建設に伴う調査(岡山以西)』岡山県教育委員会
- 山元素子 2000 『八丁堀遺跡』『県道改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 八丁堀遺跡 本村・横内遺跡 平成11年度』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター
- 山下平重 1999 『多肥松林遺跡』『多肥松林遺跡高校新設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告1』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター
- 山本一伸 1997 『大型店舗建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 森広遺跡』寒川町教育委員会
- 山本一伸ほか 1997 『森広遺跡』『森広遺跡大型店舗建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告』寒川町教育委員会
- 山元敏裕 1996 『長尾町福荷山古墳探集の土器について』『香川考古第5号』香川考古刊行会
- 山元敏裕 2002 『山南雨原遺跡』『由良原遺跡高松市川東町地主宅建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書高松市埋蔵文化財調査報告58』高松市教育委員会
- 山元敏裕編 2007 『諏訪神社遺跡・久米遺跡群一諏訪神社御旅所地区一 諏訪神社本殿移築・久米山墓地造成工事に伴う埋蔵

- 文化財発掘調査報告書』高松市教育委員会
山元素子編 2003 『空港跡地遺跡（K地区）インテリジェントパーク整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告』香川県教育委員会・(財)香川県埋蔵文化財調査センター・香川県土地開発公社
山元素子編 2005 『原間遺跡 県道大内白鳥イターロン建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告』香川県教育委員会
山元素子編 2006 『佐古川・種田遺跡 一般国道 32 号綾歌バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第1冊』香川県教育委員会・国土交通省四国地方整備局
山元素子編 2007 『高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第11冊 西津谷遺跡』香川県教育委員会・国土交通省四国整備局
齋藤明大・宏和政 1981 「大宋古墳群」『香川県埋蔵文化財調査年報 昭和55年度』香川県教育委員会
李 命憲外 1990 「大谷里住居址」『住岩呂 水没地域 文化遺跡発掘調査報告書（Ⅷ）』全南大学校博物館・全羅南道

遺物観察表

凡　　例

- ・観察表は遺物種類ごとに、土器、石器、金属器、玉類、木製品、骨の順で掲載した。
- ・番号は本文遺物番号を示す。
- ・図版はCD収録カラー写真図版のページ番号を示す。
- ・土器観察表は、その詳細版をCDに収録している。
- ・土器観察表の角閃石・雲母・砂粒の項については、相対的に胎土中に含まれる粒径を粗・中・細に、砂粒の量を多・並・少に各3段階に区分して表記した。
- ・土器観察表の分析項は第6章第5節、同章第6節の三辻氏胎土分析における分析番号を示す。

土壤觀察表

土器研究

十一

十四

土器體察表

土壤觀察

古器觀察表

十一
十二

十一、土壤湿度表

土器觀察表

石器觀察表

石器觀察者

石名(土壤名)	層別	石名	石厚 (cm)	底面 (cm)	高さ (cm)	大きさ (cm)	地質
196 1366	根付	サクライ	3.1	1.1	0.1	3.15	花崗岩・長英岩
200 1366	伏流水層	伏流水層	9.6	2.5	4.9	16.00	花崗岩・長英岩
202 1366	根付	サクライ	5.4	1.15	2.2	77.21	1
203 1366	根付	サクライ	4.2	2.5	0.6	4.38	1
204 1366	根付	サクライ	10.3	1.8	1.5	111.42	1
205 1366	根付	サクライ	4.2	0.9	0.9	9.87	1
206 1366	根付	サクライ	8.1	4.6	2.1	72.32	1
207 1366	根付	サクライ	5.6	4.2	2.2	62.02	1
208 1366	根付	サクライ	6.3	1.2	1.8	58.18	1
209 1366	根付	サクライ	4.1	2.1	0.8	2.05	1
210 1366	根付	サクライ	5.7	1.9	1.2	35.29	1
211 1366	根付	サクライ	7.4	2.7	1.5	71.47	1
212 1366	根付	サクライ	8.9	5.7	0.6	80.35	1
213 1366	カレイ	サクライ	7.7	1.9	0.9	30.31	1
214 1366	U.P.	サクライ	4.2	6.0	0.5	41.04	1
215 1366	根付	根付	13.3	5.7	2.1	68.65	1
216 1366	根付	サクライ	1.1	7.1	0.7	16.49	1
217 1366	根付	サクライ	3.1	2.4	2.4	21.0	1
218 1366	根付	サクライ	1.1	4.7	1.1	15.00	1
219 1366	根付	サクライ	14.4	2.7	1.1	18.00	1
220 1366	石層	サクライ	12.4	4.5	4.5	22.00	1
221 1366	根付	サクライ	3.9	1.9	0.5	5.12	1
222 1366	カレイ	サクライ	8.6	10.1	1.2	21.77	1
223 1366	根付	根付	7.9	4.5	1.5	10.43	1
224 1366	根付	サクライ	12.1	2.4	1.6	42.18	1
225 1366	石層	サクライ	4.1	1.7	0.4	4.80	1
226 1366	石層	サクライ	1.3	2.3	0.3	2.80	1
227 1366	石層	サクライ	2.9	1.9	0.5	4.30	1
228 1366	根付	サクライ	2.8	2.4	0.5	4.00	1
229 1366	根付	サクライ	4.2	2.5	0.5	4.99	1
230 1366	根付	サクライ	2.6	1.3	0.3	2.98	1
231 1366	石層	サクライ	2.5	1.5	0.1	2.20	1
232 1366	石層	サクライ	2.5	1.9	0.5	4.47	1
233 1366	根付	サクライ	2.8	2.1	0.8	4.15	1
234 1366	根付	サクライ	4.2	2.5	0.5	4.99	1
235 1366	根付	サクライ	5.6	5.6	0.9	17.77	1
236 1366	根付	サクライ	0.9	0.9	0.1	1.95	1
237 1366	根付	サクライ	2.5	1.4	0.2	3.75	1
238 1366	根付	サクライ	5.0	1.8	0.1	18.71	1
239 1366	根付	サクライ	3.5	4.5	1.7	26.80	1
240 1366	根付	サクライ	2.5	2.0	1.7	24.00	1
241 1366	根付	サクライ	2.5	2.5	1.5	40.55	1
242 1366	カレイ	サクライ	4.8	11.2	0.5	41.41	1
243 1366	根付	根付	6.6	4.1	1.0	30.37	1
244 1366	打石場	打石場	22.1	15.7	2.2	28.00	1
245 1366	石層	サクライ	5.5	5.5	1.3	61.00	1
246 1366	根付	根付	1.8	1.4	1.4	10.33	1
247 1366	根付	根付	3.4	3.9	2.5	100.00	1
248 1366	根付	根付	5.8	5.8	1.5	69.62	1
249 1366	根付	根付	4.1	4.1	1.0	41.58	1
250 1366	根付	根付	3.1	4.2	0.5	23.26	1

石器初探

金源数据服务

土壤类型	缩写	长 (cm)	宽 (cm)	厚度 (cm)	容积 (g)	内 容	描 考	图 号
64 ST05	黑钙土	8.6	8.2	1.0	26.07	富含有机质的 钙化风化壳状土	腐殖质层 钙化风化壳	62
65 ST05	黑钙土	8.0	8.2	0.2	16.28	富含有机质的 钙化风化壳状土	腐殖质层 钙化风化壳	62
66 ST03	黑钙土	8.2	8.0	1.0	26.18	富含有机质的 钙化风化壳状土	腐殖质层 钙化风化壳	62
67 ST03	黑钙土	8.0	12.5	0.8	41.67	富含有机质的 钙化风化壳状土	腐殖质层 钙化风化壳	62
68 ST02	黑钙土	8.6	6.4	0.5	15.61	富含有机质的 钙化风化壳状土	腐殖质层 钙化风化壳	62
69 ST03	黑钙土	8.0	2.3	4.5	2.67	富含有机质的 钙化风化壳状土	腐殖质层 钙化风化壳	62
70 ST03	黑钙土	4.6	1.0	0.5	2.15	半风化壳状土	半风化壳状土	62
71 ST03	黑钙土	6.0	5.0	2.5	36.30	半风化壳状土	半风化壳状土	62
72 ST03	黑钙土	2.0	5.0	4.1	4.31	半风化壳状土	半风化壳状土	62
73 ST05	黑钙土	2.9	2.1	1.1	2.45	半风化壳状土	半风化壳状土	62
74 ST06	黑钙土	3.0	1.4	1.2	1.56	风化壳状土	风化壳状土	62
75 ST06	黑钙土	0.9	0.9	0.3	0.40	风化壳状土	风化壳状土	62
76 ST06	黑钙土	0.2	0.1	1.5	1.20	风化壳状土-风化壳	风化壳状土-风化壳	62
77 ST03	黑钙土	1.3	0.4	0.9	0.58	风化壳-风化壳	风化壳-风化壳	62
78 ST07	黑钙土	0.9	0.1	1.5	0.24	风化壳-风化壳	风化壳-风化壳	62
79 ST03	黑钙土	0.2	0.2	0.5	0.50	风化壳-风化壳	风化壳-风化壳	62
80 ST03	黑钙土	0.7	0.5	2.3	1.04	风化壳-风化壳	风化壳-风化壳	62
81 ST03	黑钙土	1.8	0.9	0.5	0.82	风化壳-风化壳	风化壳-风化壳	62
82 ST03	黑钙土	1.6	1.0	0.7	0.74	风化壳-风化壳	风化壳-风化壳	62
83 ST03	黑钙土	1.7	0.7	0.5	0.65	风化壳-风化壳	风化壳-风化壳	62
84 ST03	黑钙土	1.2	0.5	0.5	0.46	风化壳-风化壳	风化壳-风化壳	62
85 ST03	黑钙土	2.9	0.5	0.5	0.26	风化壳-风化壳	风化壳-风化壳	62
86 ST03	黑钙土	1.9	0.4	0.3	0.10	风化壳-风化壳	风化壳-风化壳	62
87 ST03	黑钙土	1.1	0.8	0.7	0.41	风化壳-风化壳	风化壳-风化壳	62
88 ST03	黑钙土	1.7	1.4	0.7	0.49	风化壳-风化壳	风化壳-风化壳	62
89 ST03	风化壳	16.5	2.3	0.2	19.91	半风化壳状土	半风化壳状土	62
90 ST03	风化壳	12.5	2.1	1.0	42.39	半风化壳状土	半风化壳状土	62
91 ST03	风化壳	12.5	1.6	1.7	21.31	半风化壳状土	半风化壳状土	62
92 ST03	风化壳	10.2	2.6	1.1	36.44	半风化壳状土	半风化壳状土	62
93 ST03	风化壳	12.0	2.0	0.4	31.65	半风化壳状土	半风化壳状土	62
94 ST03	风化壳	10.8	2.1	0.6	29.74	半风化壳状土	半风化壳状土	62
95 ST03	风化壳	10.0	0.6	1.1	2.9	风化壳	风化壳	62
96 ST03	风化壳	5.4	2.1	0.5	4.39	风化壳	风化壳	62
97 ST03	风化壳	7.0	2.7	1.1	13.42	风化壳	风化壳	62
98 ST03	风化壳	4.2	2.8	1.0	25.93	风化壳	风化壳	62
99 ST03	风化壳	11.8	0.8	0.9	25.63	风化壳	风化壳	62
100 ST03	风化壳	2.9	2.7	1.1	26.36	风化壳	风化壳	62
101 ST03	风化壳	1.1	2.1	0.8	16.91	风化壳	风化壳	62
102 ST03	风化壳	10.7	1.6	0.7	18.32	风化壳	风化壳	62
103 ST03	风化壳	8.1	0.5	0.6	8.78	风化壳	风化壳	62
104 ST03	风化壳	9.8	1.4	0.4	14.45	风化壳	风化壳	62
105 ST03	风化壳	9.9	0.5	0.5	7.21	风化壳	风化壳	62
106 ST03	风化壳	10.3	4.2	0.9	20.29	风化壳	风化壳	62
107 ST03	风化壳					风化壳	风化壳	62
108 ST03	风化壳	12.5	1.4	0.7	14.91	风化壳	风化壳	62
109 ST03	风化壳	2.1	1.8	0.4	2.95	风化壳	风化壳	62
110 ST03	风化壳	3.0	1.5	0.5	1.60	风化壳	风化壳	62
111 ST03	风化壳	1.5	1.8	0.5	2.41	风化壳	风化壳	62
112 ST03	风化壳	4.1	1.4	0.5	5.79	风化壳	风化壳	62
113 ST03	风化壳	7.0	1.8	0.5	2.60	风化壳	风化壳	62

金匱要略卷之二

玉衡指掌表

三七四

五經總序表

100

骨盤察表					
番号	性別	年齢	高さ	足幅	備考
202	男	17.7	1.81	2.6	
203	女				骨盆の扁平
204	女				骨盆の扁平

写真図版



図版 1 A 地区空中写真 1



图版2 A地区空中写真2



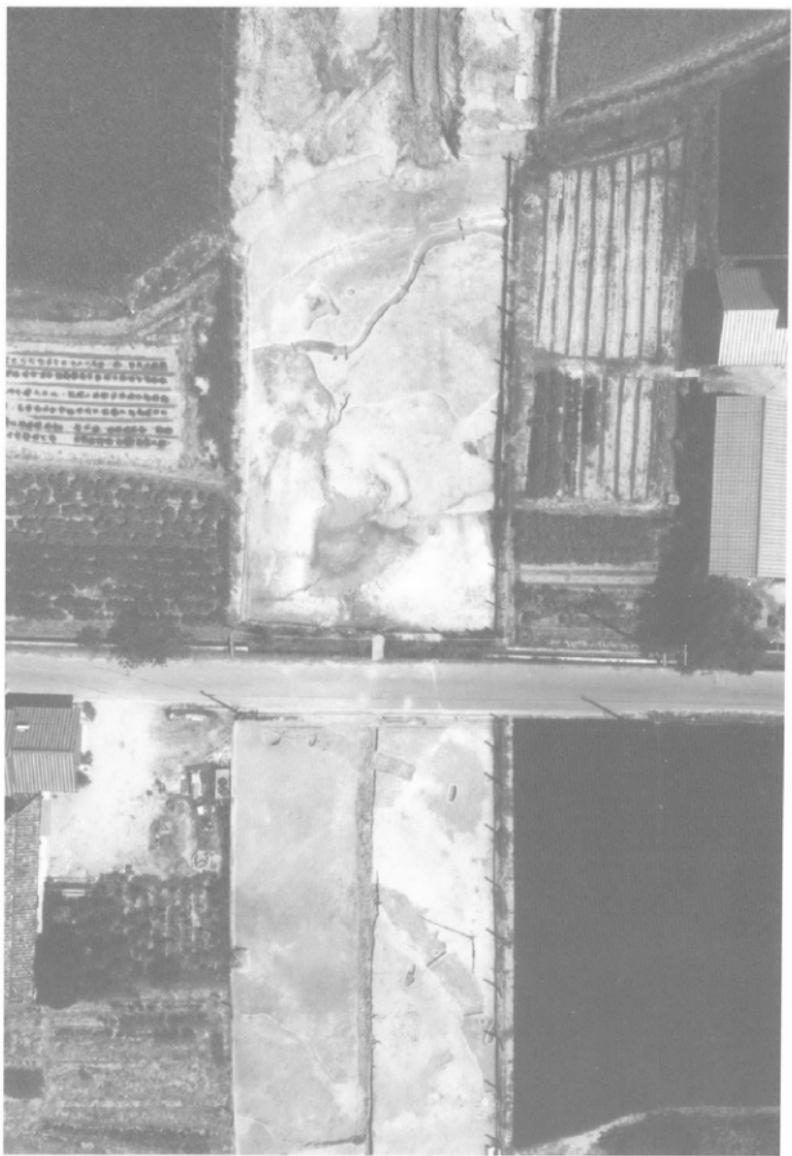
图版3 A地区空中写真3



图版4 A地区空中写真4



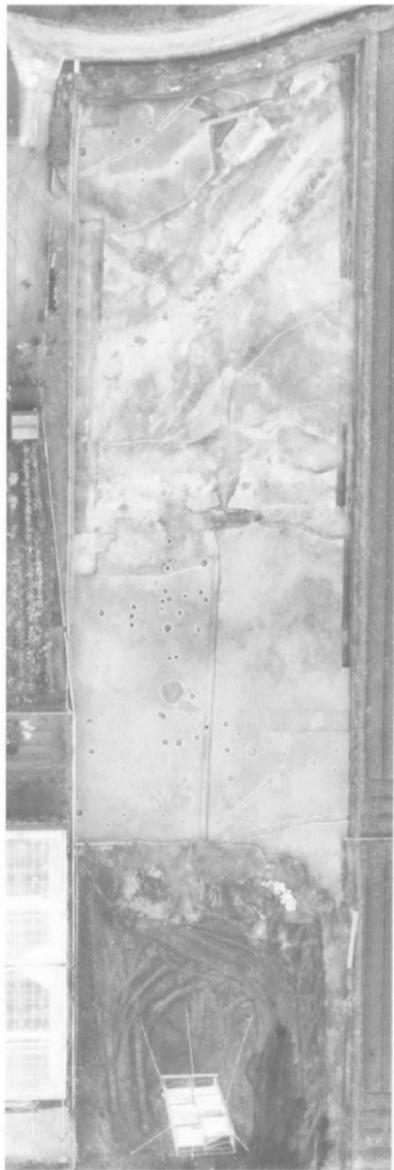
图版5 A地区空中写真5



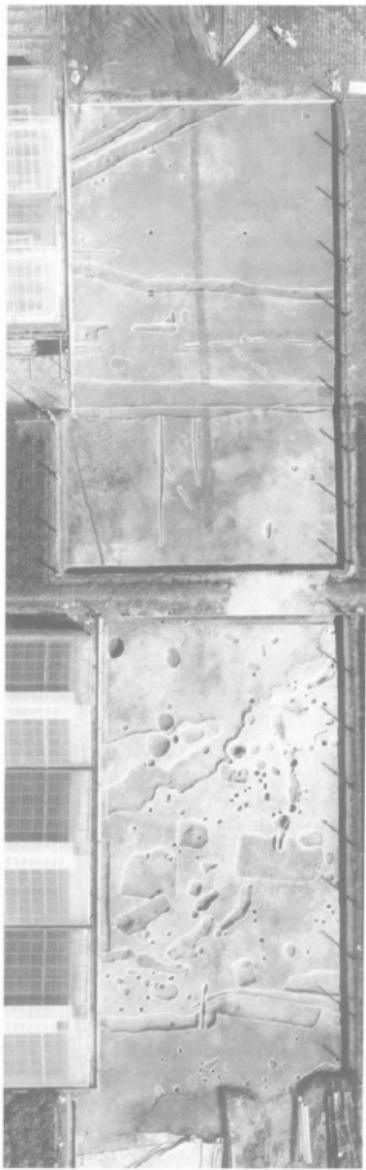
图版6 B地区空中写真1



图版 7 B 地区空中写真 2



图版 8 C 地区空中写真 1



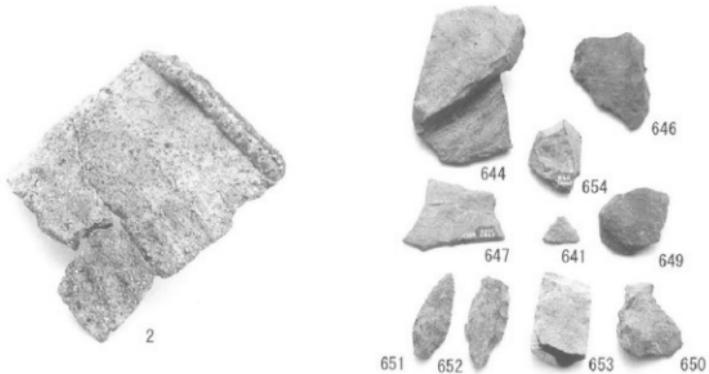
图版 9 C 地区空中写真 2



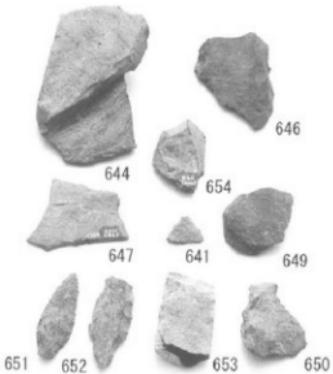
图版10 C地区空中写真3



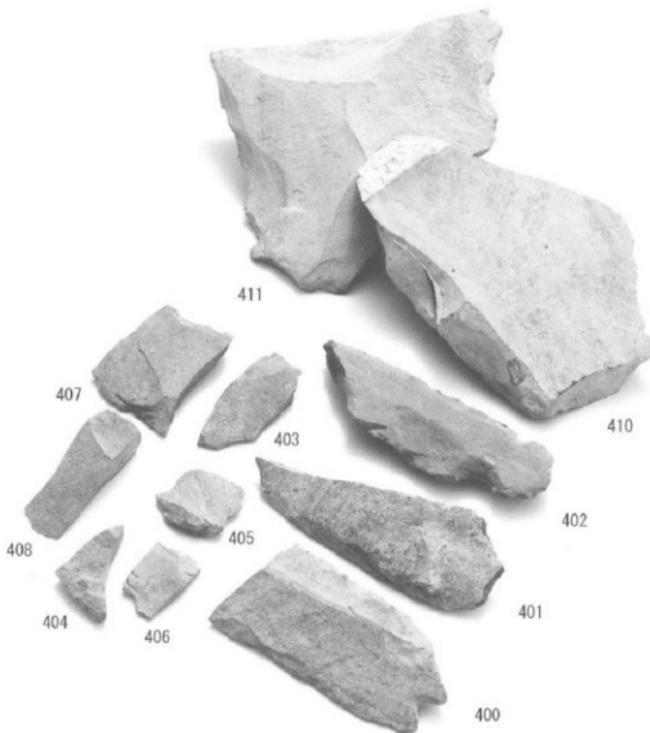
图版11 C地区空中写真 4



图版12 A地区土壤 SK04 出土土器



图版13 A地区包含层出土石器



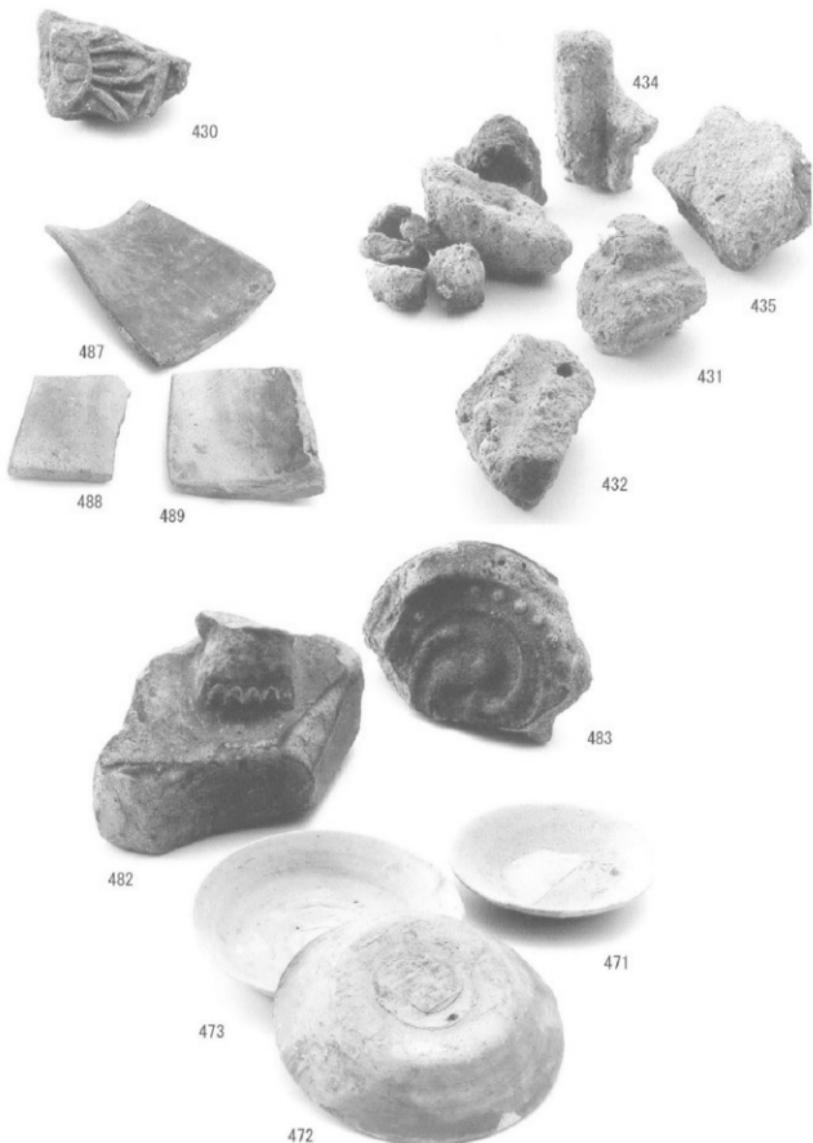
图版14 A地区 SR01 出土石器



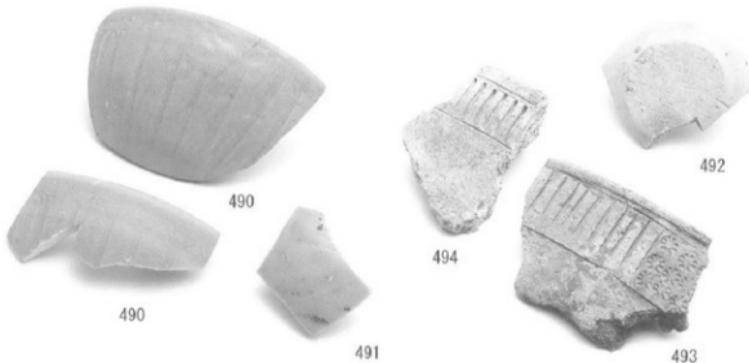
図版15 A地区古墳出土の須恵器



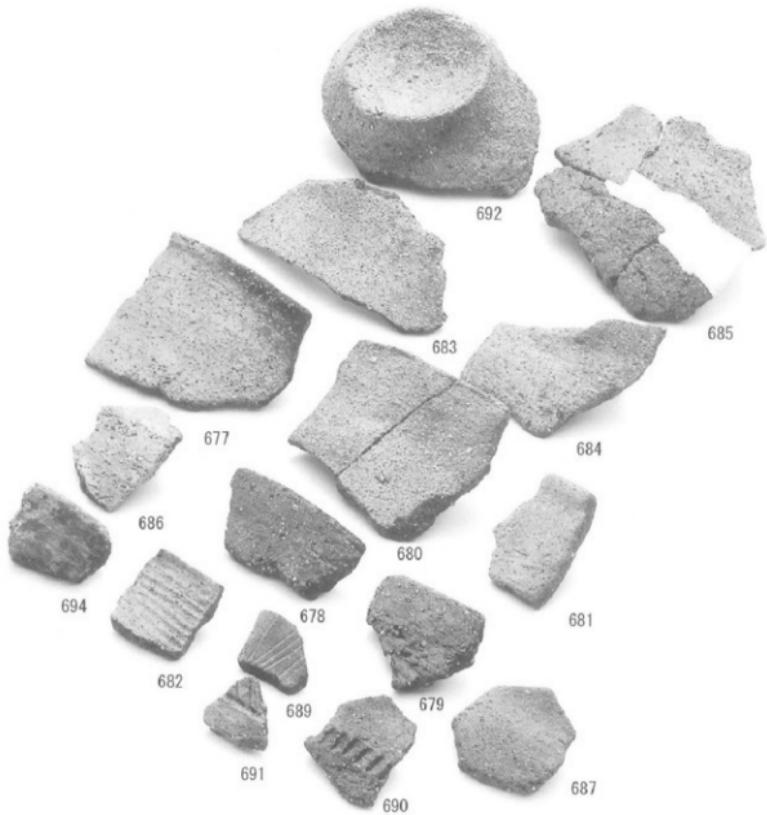
図版16 A地区古墳 ST08 出土土器



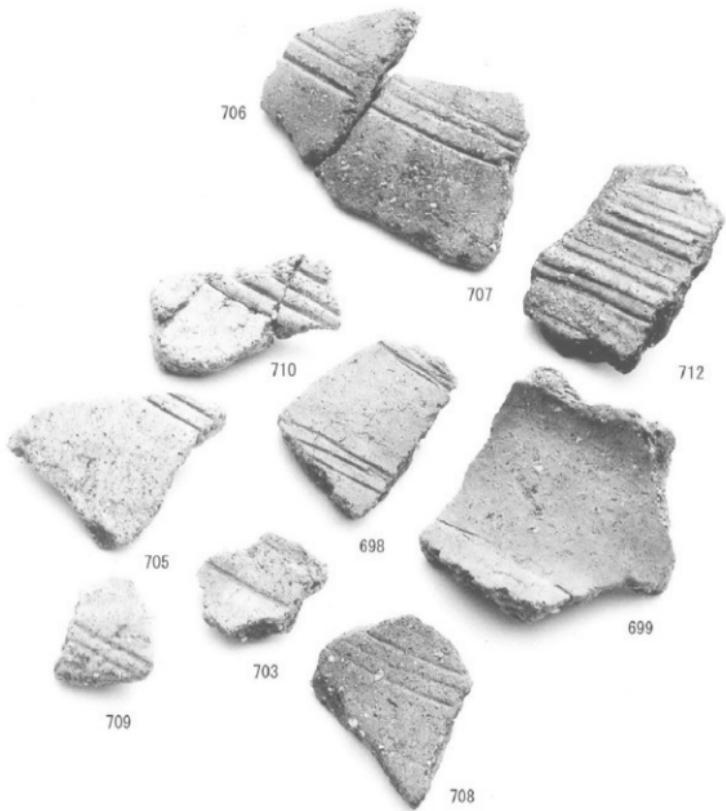
图版17 A地区中世～近世遺物 1



图版18 A地区中世～近世遗物2



図版19 B地区出土縄文土器・弥生土器



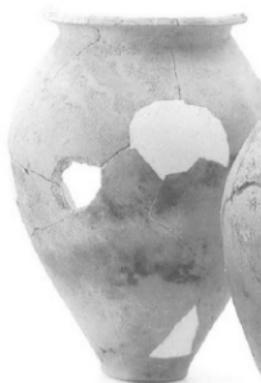
图版20 B地区出土弥生土器



749



766



747



752



750

图版21 B地区出土弥生土器·石器

報告書抄録

ふりがな	おさきにしいせき							
書名	尾崎西遺跡							
副書名	県道高松長尾大内線道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
編著者名	森下英治・松井章・三辻利一							
編集機関	香川県埋蔵文化財センター							
所在地	〒 762-0024 香川県坂出市府中町字南谷 5001-4 Tel 0877-48-2191 Fax 0877-48-3249							
発行機関	香川県教育委員会							
発行年月日	西暦 2008 年 1 月 31 日							
総頁数	目次等	本文	観察表等	図版	挿図枚数	写真枚数	付図	添付
345 頁	22 頁	301 頁	7 頁	22 頁	276 枚	43 枚	4 枚	CD 1 枚
所収遺跡名	所在地	コード		北緯 ○ ○ ○	東経 ○ ○ ○	調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因
		市町	遺跡					
おさきにし 尾崎西遺跡	香川県さぬき 市長尾町東			34 度 15 分 30 秒 (日本測地系)	134 度 7 分 47 秒 (日本測地系)	1992. 4. 1 ~ 1993. 3. 31	11,000 m ²	県道高松長 尾大内線道 路改良
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
尾崎西遺跡	集落跡 河川跡 墳墓	縄文時代 ~ 中世	落とし穴跡・貯蔵穴 跡・竪穴住居跡・掘立 柱建物跡・土坑・溝 跡・河川跡・古墳・ 円形周溝墓・土壤墓	縄文土器・弥生土器・ 土師器・須恵器・綠 釉陶器・黒色土器・ 金銅装馬具・鉄鏃・ 鐵刀・耳環・玉類・ 韓式系土器・陶質土 器・木製農具・石器			突出部付円形周溝墓 韓式系土器・陶質土器	

県道高松長尾大内線道路改良事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告

尾崎西遺跡

平成 20 年 1 月 31 日

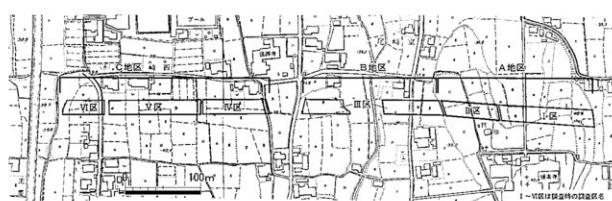
編 集 香川県埋蔵文化財センター
香川県坂出市府中字南谷 5001-4
Tel 0877-48-2191 Fax 0877-48-3249

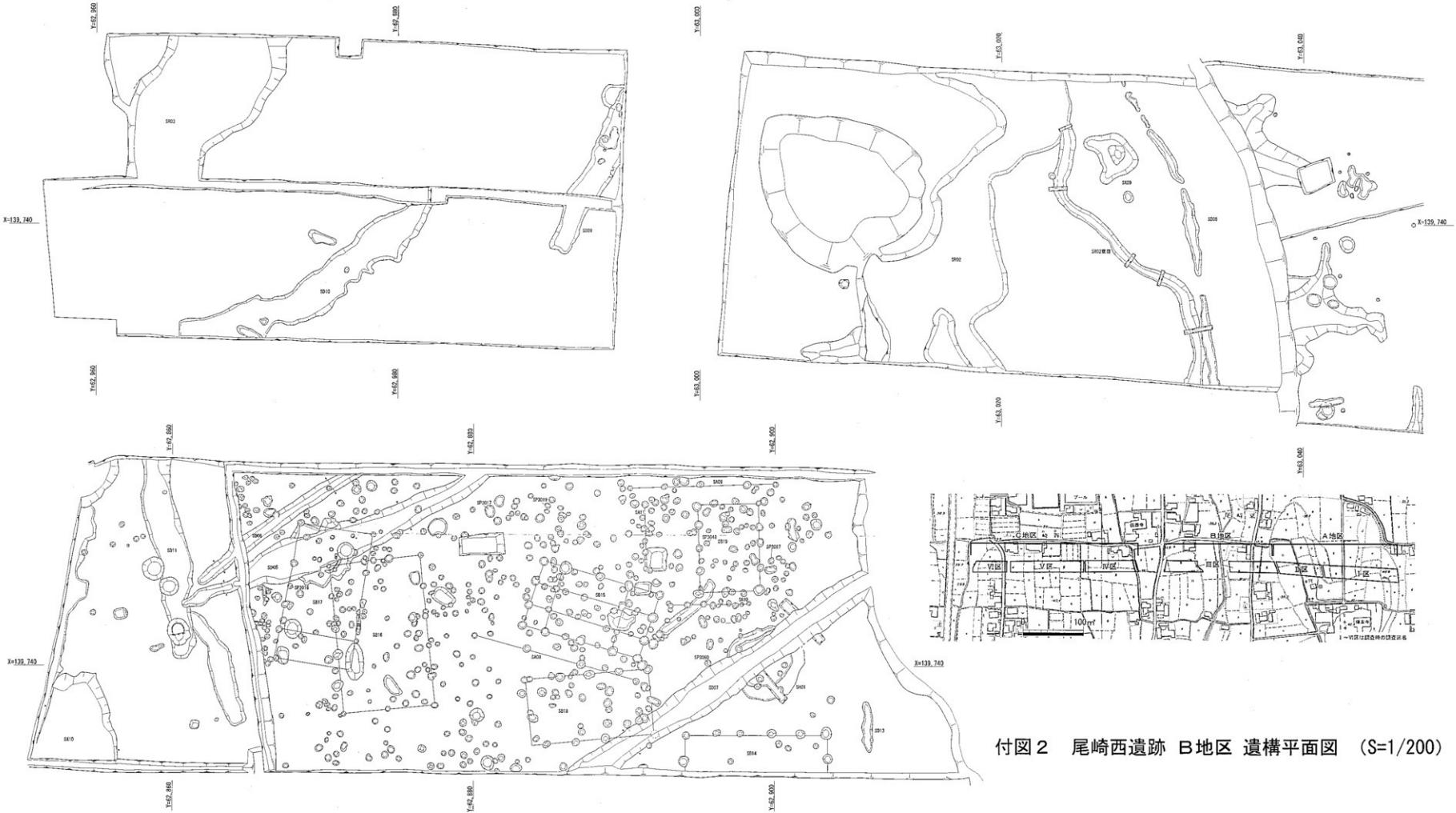
発 行 香川県教育委員会

印 刷 (株) 中央印刷所

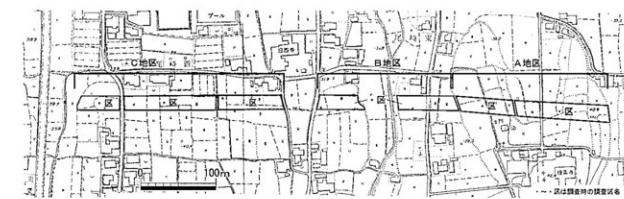
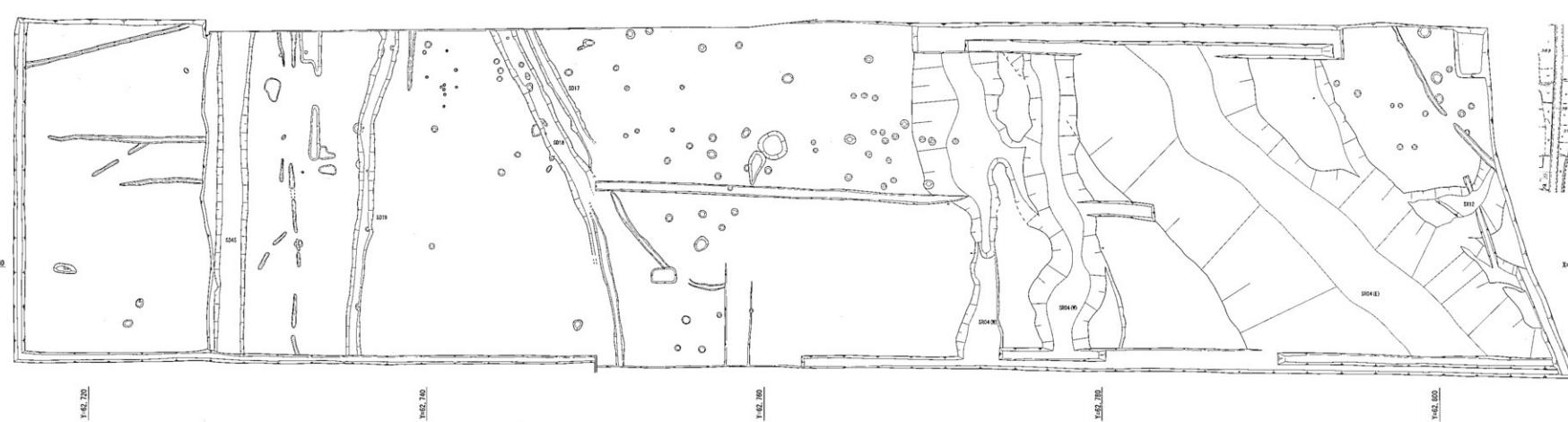


付図1 尾崎西遺跡 A地区 遺構平面図 (S=1/200)

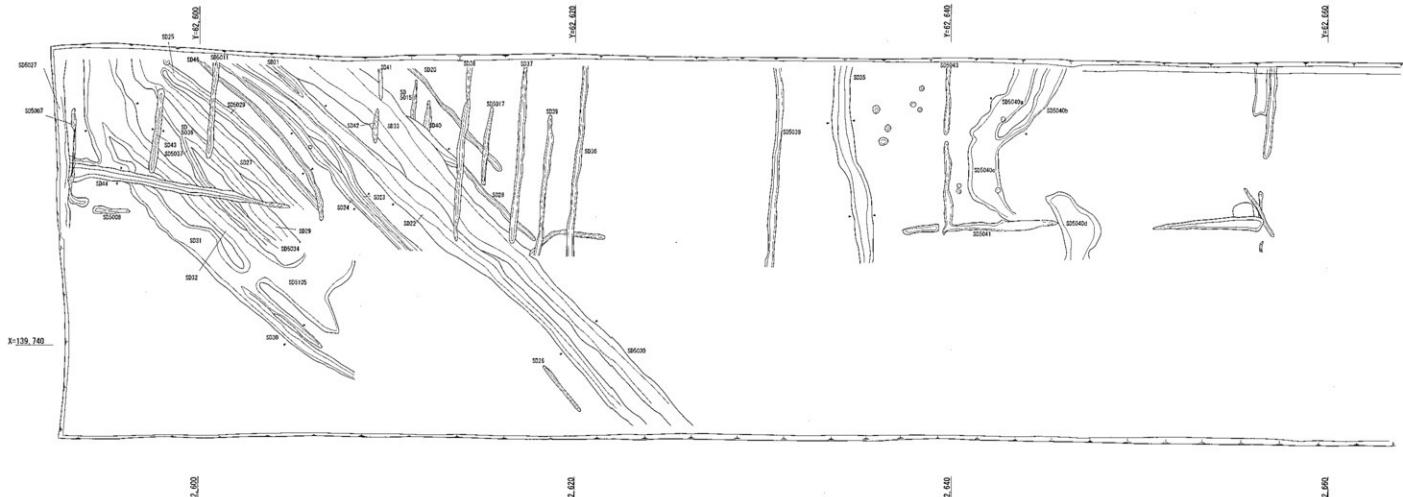
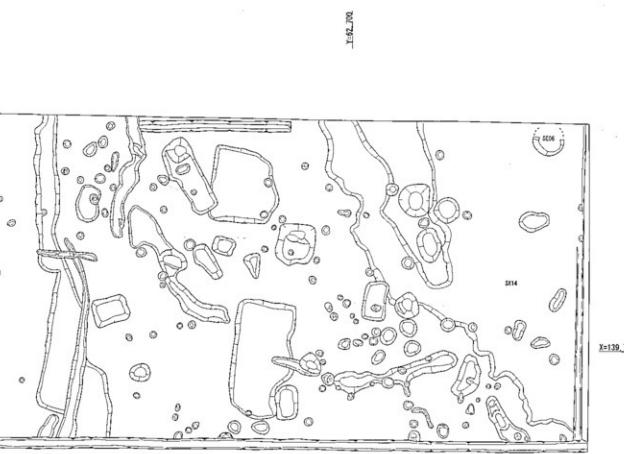
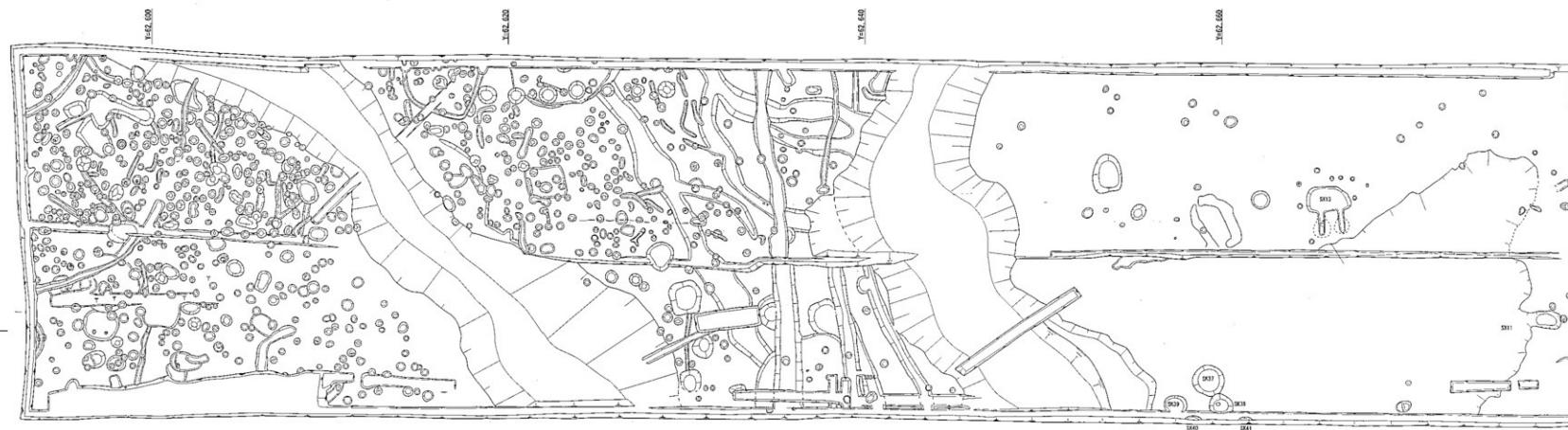




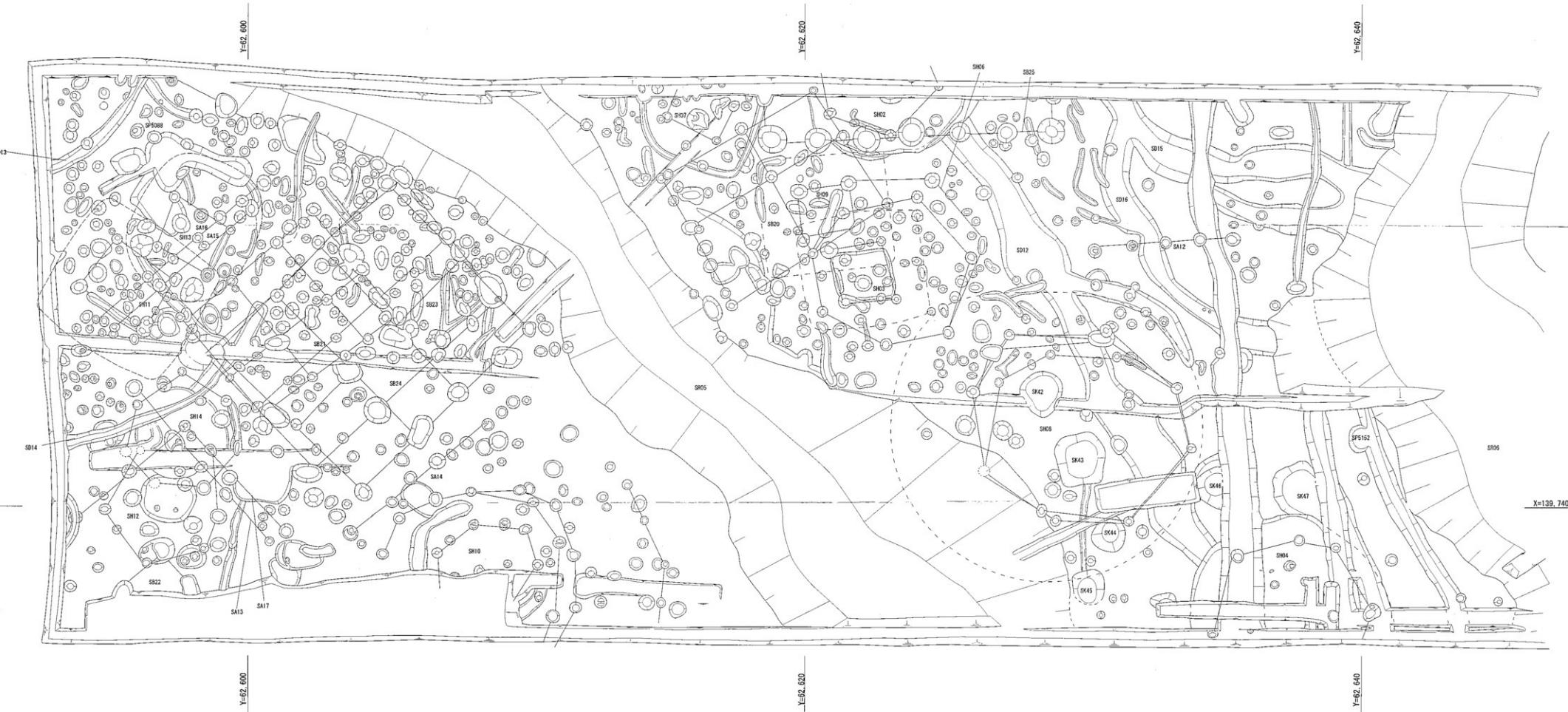
付図2 尾崎西遺跡 B地区 遺構平面図 (S=1/200)



付図3-1 尾崎西遺跡 C地区 遺構平面図1 (S=1/200)



付図3-2 尾崎西遺跡 C地区 遺構平面図2 (S=1/200)



付図4 尾崎西遺跡 C地区 遺構平面拡大図 (S=1/100)

